

YEG 大賞 応募資料

島根県連 松江 YEG

松江 YEG では今年 3 回目となる、松江の中心市街地全体を舞台とした『まつえランド～水都の秋まつり』を開催しました。

まつえランド Facebook ページ

<https://www.facebook.com/まつえランド-622349251201555/>

【事業の動機、目的、狙い】

『まつえランド』とは、主に既存商店街振興により、松江の中心市街地が活性化することを目的として松江 YEG が立ち上げた事業です。

松江市内の商店街・大型店舗・地域団体が各々企画して行っている既存のイベントの開催日を集約し、連繋させることにより、あたかも松江の中心市街地全体でひとつの大規模な祭りが開催されているような雰囲気を出し、賑わいや集約による様々な相乗効果を生み出すことを狙いとしています。

松江市内の中心市街地の商店街には、かつてのような賑わいを失っている所もあります。またそれぞれの商店街は街路単位で完結する形で市内に散在しており、市民や観光客が周遊する動機やきっかけというものはほとんどありませんでした。

そして、我々の世代が子供の頃感じたまちなかでの活気、楽しい思い出といった、郷土への愛着の醸成に繋がる機会も少なくなってきたと感じます。

このような地方都市の中心市街地が抱える課題を解決する手段の一つとして、この事業を立ち上げました。

『まつえランド』は、まちなかに再び人を呼び戻し、中心市街地の広い範囲に市民・観光客の周遊を生み経済的な活性化を促すと共に、次代への先導者たる YEG として、未来の地域を担う人材の定着を見据えた事業でもあります。

『まつえランド』には、新しい「おまつり」文化の創造により郷土愛～「まつえ愛」～を育んでいきたいという松江 YEG メンバーの想いが込められています。

郷土への愛着は必ずや、若者や子供たちなど地域経済の将来を担う世代が「松江に住み続けたい」、「松江で仕事がしたい」という希望に繋がっていくという信念をもって取り組んでいます。

【事業概要】

(日時) 2017/10/7(土) ～9 (月・祝)

松江市内の5商店街をメインに市内各所で3日間同時に行うイベント

(参加商店街)

- ・松江学園通り商店街 : 学園キッズパーク
- ・南殿町商店会 : カラコロ秋祭り・おでんランド
- ・タテ町商店街 : ノスタルジック タテ町 手仕事マーケット
- ・京店商店街 : カラコロ秋祭り 肉料理オブ・ザ・ワールド
- ・天神町商店街 : イスー1グランプリ ex

(参加大型店舗・企業)

- ・一畑百貨店
- ・イオン松江ショッピングセンター、イオンリテール株式会社
- ・JR西日本山陰開発(シャミネ松江店)
- ・西日本旅客鉄道株式会社(JR 松江駅)

※上記大型店舗・企業による「まつえ えきまえマルシェ」の開催

(参加団体)

- ・国土交通省(ミズベリング縁) : 仲秋の嫁が島(嫁が島への渡船、嫁が島での湖上茶会)
: カヌー、SUP体験
: オープンカフェ
- ・松江市 : 宍道湖・大橋川渡船、松江水燈路
- ・島根大学: 大学祭 凧風祭
- ・松江YEG : おでんランド 山口(長州)おでん・小浜鯖おでん・東京北区おでん・市内飲食店によるオリジナルおでん販売・松江YEGによる松江おどん販売

【周遊を促す手法】

各所を周遊するためにスタンプラリーを行い、各会場を巡ってスタンプを集めると豪華賞品もゲットできる「まつえご縁あつめフレンドランド3」も行いました。当該事業は中心市街地活性化の他にも、松江に暮らす子どもたちに地域での楽しい幼少期の思い出を作ってもらい、「大きくなっても地元松江に住み続けたい、進学で県外に出るが、いつかは松江で暮らしたい」といった地域への誇りや愛着を持ってもらいたい、という想いで行っています。

【集約の効果】

同時多発的にまち全体を舞台にイベントを仕掛け、イベントの規模を拡大することによって発信力の強い広報活動が可能となります。そして各商店街・大型店舗・地域団体がお互いに情報を共有し連携することにより効率的にイベントが展開され、来場者数など様々な面で相乗効果が生まれました。

【広報、告知の工夫】

告知としては『いかに無料で幅広く』をポイントとして行いました。市報や地元新聞社事前に記事にいただき、当日もメディア各社から取材をいただき、テレビやラジオでその様子を放送していただきました。また、告知チラシを松江市全域へ新聞折り込み、また市内小学校全校児童へ配布を行い、子どもが楽しむことの出来るイベントであることをPRしました。

【岩手県大船渡市から感謝のさんま 2,000 匹無料配布】

松江 YEG OB の先輩からのご縁で岩手県大船渡市で水揚げされたさんま 2,000 匹を当事業を実施した 3 日間で松江市民に無料配布を行いました。これは東北震災復興支援に対する大船渡の水産会社からの御礼のさんまということで、岩手県連大船渡 YEG の皆様にもご協力いただき、大船渡へ焼き方指導をしていただいたく為に訪問したり、当日の配布作業にもお手伝いに来松いただいたりと、ご縁ができ、会場の集客アップに繋がりました。

3 日間で商店街が賑わい、大いに盛り上がりました。このイベントをきっかけに商店街を歩き商店街のお店を知ってもらうことができ大成功に終わりました。

まだ今年で 3 回目と若い事業ではありますが、地域に定着する事業へ育てていきたいと思えます。

また、事前の多方面へのPRもでき、YEGのPRにもなったと思えます。





サンマ無料提供1日目 (2017.10.07)

場所：天神町商店街
配布予定数：700匹



大船渡で指導を受けた福島OBや現役メンバーからサンマ焼き初体験のメンバーにレクチャー



ますますの焼き加減です。



松江YEGメンバー総出でサンマを焼きました。



大船渡YEGの渡辺会長にもお越しいただきました。また、メディアからの取材も受けました。



大船渡からのサンマにメディアもニュースで取り上げました。



天候不良の中、大船渡のサンマをお目当てに行列が出来ました。

サンマ無料提供2日目 (2017.10.08)

場所：南殿町商店街
配布予定数：600匹



2日目は前日と違い、暑いくらいの快晴でした。
サンマをもとめる長蛇の列が出来ました。



2日目の焼き場は商店街の皆さんに
お手伝いいただきました。



今回の焼き網は
防猪ネットを改良して制作しました。



開始からわずか2時間で、予定していた600匹と天候不良の為、
前日配布できなかった120匹の合わせて720匹が完売しました。



YEGメンバーから商店街の方へ
焼き方の説明をしました。



火の消し方も大船渡流です。

サンマ無料提供3日目（2017.10.09）

場所：岸公演(ミズベリング会場)
配布予定数：700匹



3日目も天気に恵まれ、
2日目同様に長蛇の列が出来ました。



陸前高田市へ出向中の武田さんも
サンマ焼きのために帰松してくださいました。



開始時間よりも早い時間から
並んでお待ちいただきました。



3日目は、島根県立松江商業高等学校の生徒さんが
ボランティアでサンマの提供をお手伝いしてくれました。



3日目になり、YEGメンバーの
焼き方もかなり上達しました。



最終日もメディアからの取材